

Global Digital Transformation Partner

2020年3月期 第3四半期決算 補足説明資料



2020年1月31日

トランスコスモス株式会社

1. エグゼクティブサマリ
2. 連結損益計算書サマリ
3. セグメント別業績サマリ
4. 連結売上高の増減分析
5. 連結営業利益の増減分析
6. 単体サービス 営業利益の増減分析
7. セグメント別 四半期業績（2019年10-12月期）
8. 連結四半期業績の推移
9. 親会社四半期純利益の増減分析
10. 連結貸借対照表の概要
11. 設備投資・減価償却・従業員数・サービス拠点
12. 3Q 活動トピックス

1. エグゼクティブサマリ

成果

- 全セグメントが増収・増益を達成
- 売上高は前年同期比**+10.3%**の増収、売上高成長率が加速
- 受注業務の採算性改善で売上総利益率は**+1.1ポイント**改善
- 販管費は売上・収益状況を踏まえた**コストコントロールを維持**
- 営業利益は前年同期比**+49億円、+169.5%**の大幅増益

課題

- 単体サービス・海外関係会社のさらなる収益性改善・向上への取り組みを加速

2. 連結損益計算書サマリ

- 売上高：単体サービス中心に全セグメントで増収
- 営業利益：単体サービス中心に全セグメントで収益性が改善し増益
- 経常利益：営業利益の増加により増益
- 親会社四半期純利益：特別利益減少の影響はあったものの、営業利益の増加などにより増益

単位：百万円	2019年3月期 3Q累計		2020年3月期 3Q累計		増減	
		(構成比)		(構成比)	(増減額)	(増減率)
売上高	208,646	100.0%	230,092	100.0%	21,445	10.3%
売上原価	174,477	83.6%	189,793	82.5%	15,315	8.8%
売上総利益	34,169	16.4%	40,299	17.5%	6,130	17.9%
販管費	31,277	15.0%	32,504	14.1%	1,227	3.9%
営業利益	2,892	1.4%	7,794	3.4%	4,902	169.5%
営業外損益	284	0.1%	-94	-0.0%	-378	-
経常利益	3,176	1.5%	7,700	3.3%	4,524	142.4%
特別損益	6,977	3.3%	1,693	0.7%	-5,283	-75.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,994	2.9%	6,116	2.7%	122	2.0%

3. セグメント別業績サマリ

- 単体サービス：増収・増益。主要サービスが受注好調、増収に加え受注業務の採算性改善や販管費率低下で収益性改善
- 国内関係会社：増収・増益。上場子会社の好調な業績、新規連結の影響などで売上・利益ともに増加
- 海外関係会社：増収・増益。中国・韓国・東南アジア子会社の好調な業績などで売上・利益ともに増加

単位：百万円		2019年3月期 3Q累計		2020年3月期 3Q累計		増減	
			(構成比)		(構成比)	(増減額)	(増減率)
売上高	単体サービス	155,652	74.6%	169,577	73.7%	13,925	8.9%
	国内関係会社	15,047	7.2%	20,330	8.8%	5,282	35.1%
	海外関係会社	43,928	21.1%	47,551	20.7%	3,622	8.2%
	セグメント間取引消去	-5,982	-2.9%	-7,366	-3.2%	-1,384	-23.1%
	(合計)	208,646	100.0%	230,092	100.0%	21,445	10.3%
セグメント 損益	単体サービス	2,489	86.1%	5,916	75.9%	3,427	137.7%
	(利益率)	1.6%		3.5%			
	国内関係会社	388	13.4%	1,134	14.6%	745	192.0%
	(利益率)	2.6%		5.6%			
	海外関係会社	13	0.5%	757	9.7%	744	-
	(利益率)	0.0%		1.6%			
セグメント間取引消去	1	0.0%	-13	-0.2%	-14	-	
(合計)	2,892	100.0%	7,794	100.0%	4,902	169.5%	

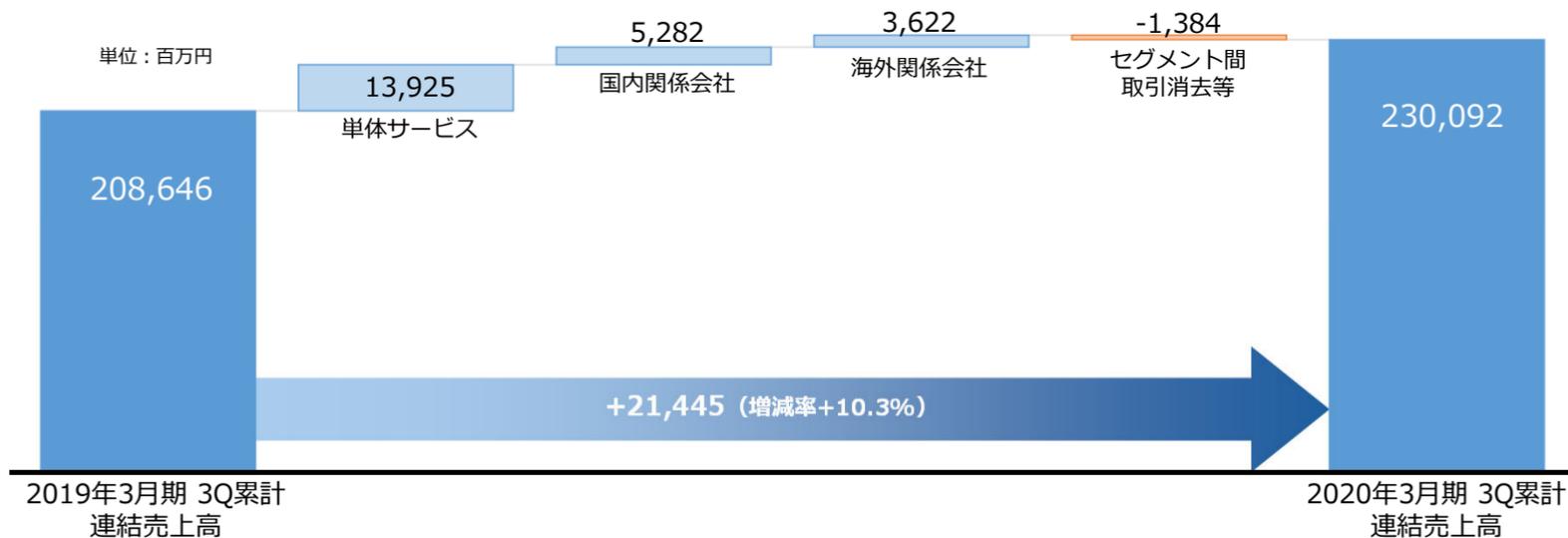
4. 連結売上高の増減分析

- 売上高 増加：+21,445百万円（+10.3%）

単体サービス 主要サービス（DEC・BPO）の受注増加で増収

国内関係会社 上場子会社の売上増加、新規連結の影響などで増収

海外関係会社 中国・韓国・東南アジア子会社で増収



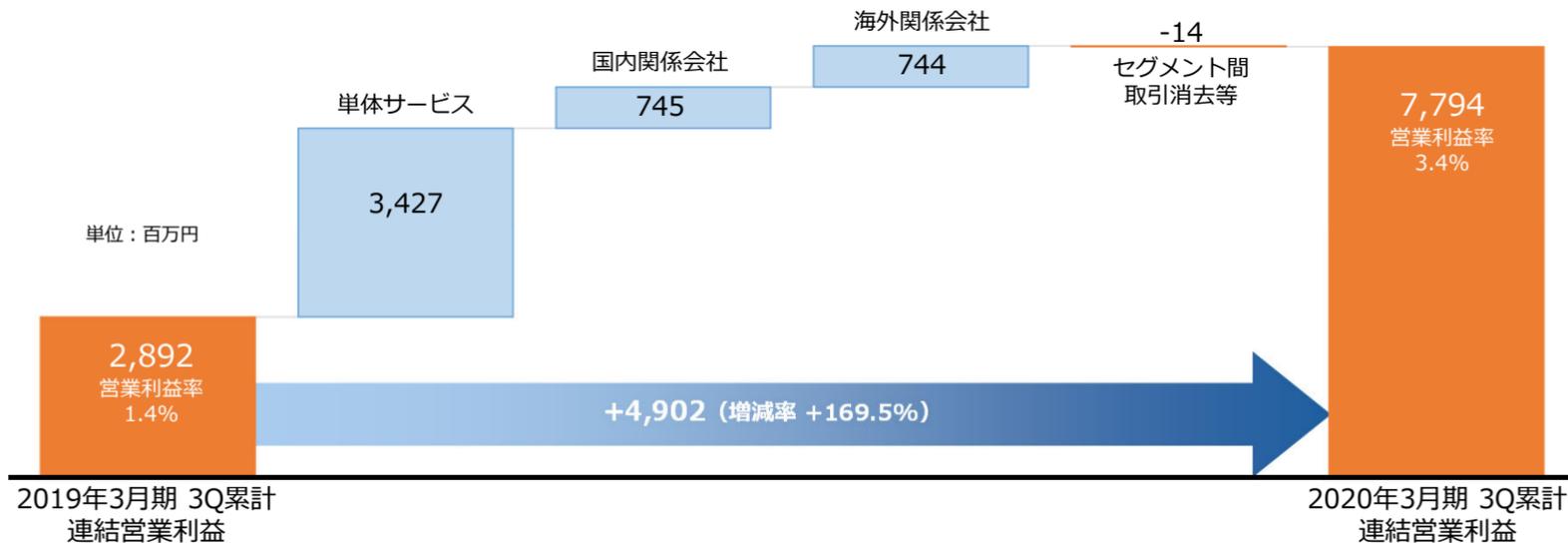
5. 連結営業利益の増減分析

- 営業利益 増加 : +4,902百万円 (+169.5%)

単体サービス 増収に加え、受注業務の採算性改善による売上総利益率の改善、コストコントロールによる販管費率の低下で増益

国内関係会社 上場子会社の利益増加、新規連結の影響などで増益

海外関係会社 中国・東南アジア子会社の収益性改善などで増益



6. 単体サービス 営業利益の増減分析

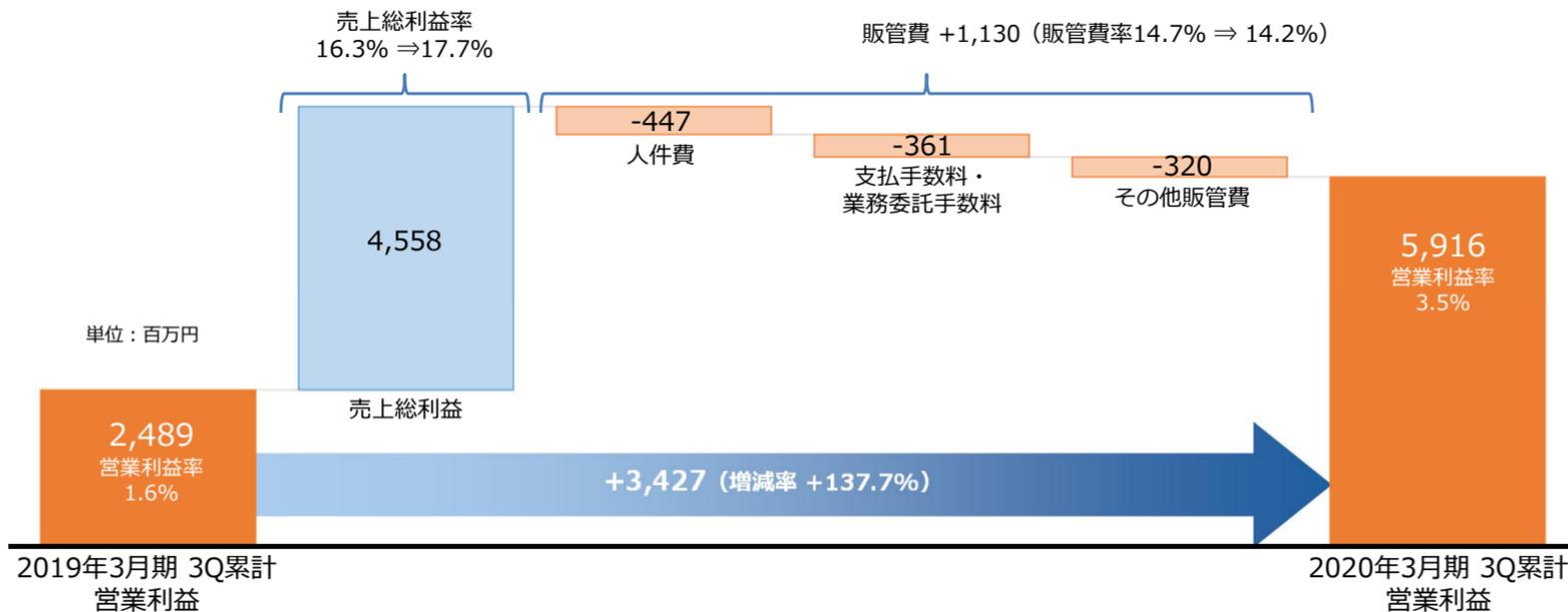
- 営業利益 増加 : +3,427百万円 (+137.7%)

売上総利益

増収に加え、既存案件の業務改善や高収益案件の獲得などで受注業務の採算性が改善し、総利益率は1.4ポイント改善

販管費

売上増加に伴い1,130百万円増加したものの、コストコントロールにより販管費率は0.5ポイント低下



7. セグメント別 四半期業績 (2019年10-12月期)

- 売上高：単体サービス中心に全セグメントで売上が増加し、+7,190百万円、+10.1%の増収
- 営業利益：単体サービス中心に全セグメントで収益性が改善し、+1,933百万円、+149.6%の増益

単位：百万円		2019年3月期 3Q		2020年3月期 3Q		増減	
			(構成比)		(構成比)	(増減額)	(増減率)
売上高	単体サービス	53,798	75.8%	58,204	74.5%	4,406	8.2%
	国内関係会社	4,949	7.0%	7,571	9.7%	2,622	53.0%
	海外関係会社	14,374	20.3%	15,032	19.2%	658	4.6%
	セグメント間取引消去	-2,164	-3.1%	-2,661	-3.4%	-497	-23.0%
	(合計)	70,957	100.0%	78,147	100.0%	7,190	10.1%
セグメント 損益	単体サービス	1,240	96.0%	2,572	79.8%	1,332	107.4%
	(利益率)	2.3%		4.4%			
	国内関係会社	43	3.4%	260	8.1%	216	494.7%
	(利益率)	0.9%		3.4%			
	海外関係会社	3	0.3%	405	12.6%	401	-
(利益率)	0.0%		2.7%				
セグメント間取引消去	3	0.3%	-13	-0.5%	-17	-	
(合計)	1,291	100.0%	3,225	100.0%	1,933	149.6%	

8. 連結四半期業績の推移

- 売上高：増収トレンド・高成長率を維持、前期に比べて成長率が加速
- 営業利益：前期に比べて利益水準・利益率が改善傾向で推移。当2Q・3Qの利益率は4%水準に回復



9. 親会社四半期純利益の増減分析

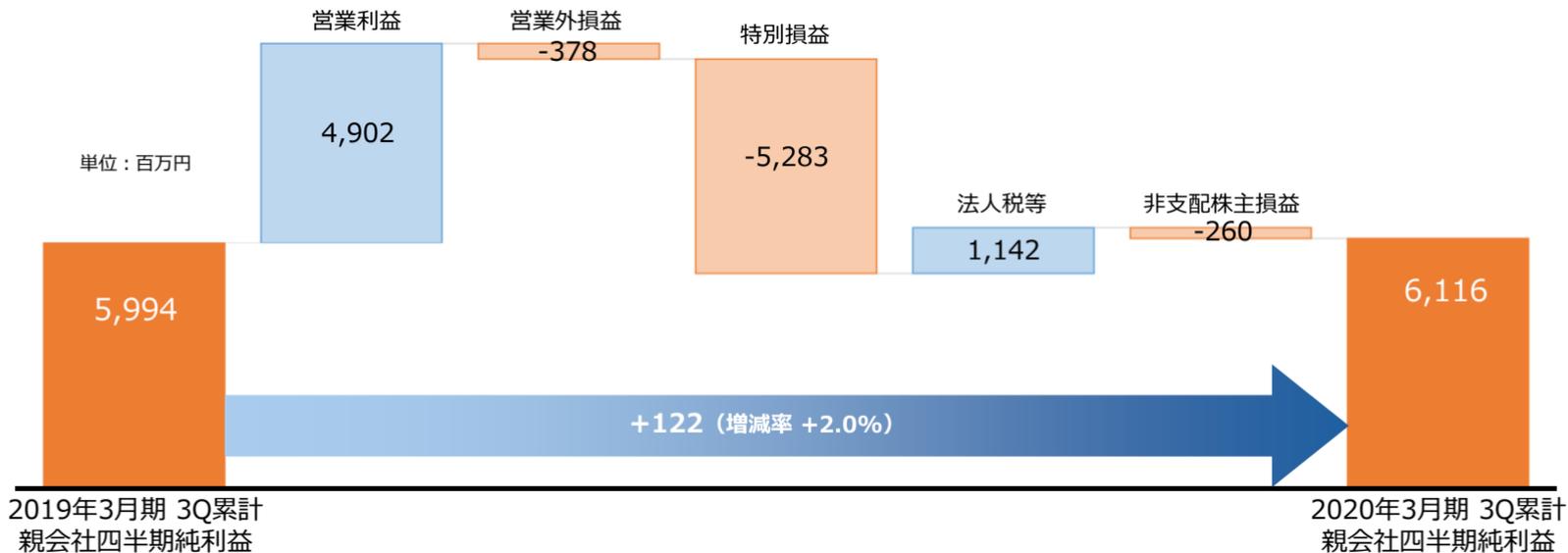
- 親会社四半期純利益 増加：+122百万円（+2.0%）

営業外損益

持分法投資損益は改善したものの、前年同期に計上したファンド運用益の減少などで378百万円減少

特別損益

前年同期に計上した関係会社株式売却益の反動などにより5,283百万円減少



10. 連結貸借対照表の概要

- 資産：借入金の返済等により「現金及び預金」が減少したものの、「受取手形及び売掛金」や流動資産の「その他」に含まれている短期貸付金などが増加
- 負債：「1年内返済予定の長期借入金」は減少したものの、「未払費用」や「買掛金」などが増加
- 純資産：「利益剰余金」が増加

単位：百万円	2019年3月末	2019年12月末	増減額	
流動資産	89,835	90,858	1,022	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現預金-5,139 ・ 受取手形及び売掛金+1,523 ・ その他+3,614
固定資産	45,433	47,832	2,398	<ul style="list-style-type: none"> ・ のれん+679 ・ 投資有価証券-531 ・ 関係会社株式-877 ・ 関係会社出資金+903 ・ 差入保証金+757
資産合計	135,268	138,690	3,421	
流動負債	48,121	57,210	9,088	
固定負債	12,232	3,748	-8,483	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買掛金+1,016 ・ 一年内償還予定転換社債型新株予約権付社債+10,009 ・ 一年内返済予定長期借入金-1,642 ・ 未払費用+1,269 ・ 賞与引当金-1,061
負債合計	60,353	60,959	605	
純資産	74,915	77,731	2,816	
負債・純資産合計	135,268	138,690	3,421	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転換社債-10,017 ・ 長期借入金+1,223
現預金	36,032	30,893	-5,139	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利益剰余金+4,748 ・ 為替換算調整勘定-1,900
有利子負債	13,668	12,416	-1,251	
Netキャッシュ*	22,364	18,477	-3,887	

*Netキャッシュ=現預金-有利子負債

(ご参考) 保有上場銘柄

- 投資ポートフォリオはモニタリングを通じた定期的な見直しを強化

トランスコスモス単体の保有上場株式

単位：百万円

種類	銘柄名	市場	証券コード	時価 ※1
関係会社株式	応用技術株式会社	東証JQS	4356	6,300
	株式会社Jストリーム	東証マザーズ	4308	4,548
	eMnet Inc.	KOSDAQ	123570	2,003
	PFSweb Inc.	NASDAQ	PFSW	1,689
投資有価証券	株式会社メニコン	東証1部	7780	490
	株式会社ジーニー	東証マザーズ	6562	283
	Twilio	NYSE	TWLO	187
	日本航空株式会社	東証1部	9201	140
	ミズノ株式会社	東証1部	8022	26
	株式会社MTG	東証マザーズ	7806	15
	株式会社ジャックス	東証1部	8584	13
合計				15,699

グループ会社保有の主要上場株式

種類	銘柄名	市場	証券コード	時価 ※1
投資有価証券	北京騰信創新網絡營銷技術股份有限公司 (TensynPRC)	ChiNext	300392	4,281

※1 時価は2020年1月30日終値で計算。ただし、PFSweb、Twilioは1月29日終値。

11. 設備投資・減価償却・従業員数・サービス拠点

● 設備投資額・減価償却費

単位：百万円	2019年3月期 3Q累計	2020年3月期 3Q累計	増減率
設備投資額	3,275	3,905	19.2%
減価償却費	2,402	2,542	5.8%

● 従業員数

	2019年3月末	2019年12月末	増減
連結従業員数	30,051	31,954	1,903
（臨時従業員数）	24,866	25,385	519
単体従業員数	14,106	15,104	998
（臨時従業員数）	21,407	21,295	-112

● サービス拠点

	2019年3月末	2019年12月末	増減
サービス拠点*	171	168	-3
（国内サービス拠点）	62	64	2
（海外サービス拠点）	109	104	-5

*サービス拠点は、自社サービス拠点のほか本部・支社・営業所・関係会社・パートナー等の拠点も含む

● 設備投資

主に単体サービスと海外関係会社でのセンター・事業所の新設・増床などで投資額が増加

● 減価償却

主に単体サービスと国内関係会社において過年度にセンター・事業所を新設・増床した影響などで増加

● 従業員

単体・中国子会社での採用、新規連結の影響などで従業員数が増加。単体の臨時従業員減少は主に無期雇用化による影響

● サービス拠点

国内は、MCMセンターさっぽろ創世スクエア、BPOセンター札幌狸小路を新設。海外は、ベトナムにホーチミン第三センターを新設。一方で、中国・欧州の一部関係会社・パートナー拠点が減少

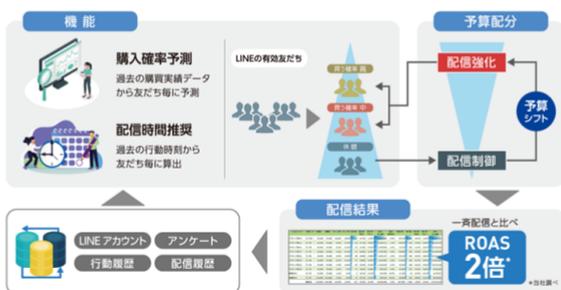
LINE公式アカウントのメッセージ配信を最適化する「WHITE BASE」提供開始

- AIを活用した独自の成果予測システムで友だちごとの購入確率や配信推奨時間を事前予測し、最適な配信を実施することで、LINEのメッセージ経由の売上最大化を支援
- 配信後は、購入確率に基づいた配信リストを自動集計できるため、成果に基づく売上予測シミュレーションを策定し、次の配信に向けた戦略的な配信計画立案、PDCAを実現



「LINE経由の“ROAS倍増”」を実現する仕組み

AI活用による購入確率予測で、友だちを分類！ メリハリ配信で、ROASが導入前と比べ倍増



AIで“将来のLTV*”を予測して新規顧客獲得を効率化するサービス「KAGARI」を自社開発・提供開始

- お客様企業が保有する顧客の購買データをもとに統計予測モデルをAIを用いて算出し、そこから顧客の“将来のLTV*”を予測、生涯価値や貢献度の高い優良顧客をリスト化／分析して広告配信を実施
- 継続的な価値を見極め“将来のLTV*”に焦点を当てたデジタル広告運用を行うことで、お客様企業のマーケティング戦略に応じた新規優良顧客の獲得を効率的に支援

*LTV (Life Time Value) : 顧客生涯価値



KAGARI サービス概要図



▶ 新サービスのリリース・既存サービスの拡充

- 国内最大規模のメディア連携数を誇るインターネット広告全自動レポートシステム「REPORTAS（レポータス）」を独自開発
- 多様化するギフトニーズにこたえるピタプレ コンシェルジュサービスを強化

▶ サービスの提供実績

- 一般財団法人 全国SNSカウンセリング協議会 台風19号で被災された方々のメンタルケアを行うため「LINE」を活用した無料相談事業を実施
- 宮崎県都城市の市政情報配信や移住相談対応におけるLINEの活用を支援開始
- カインズに「Amazon Connect」を活用した緊急コールセンターサービスを提供
- 自然派化粧品「江原道」のタイ・マレーシアでの現地販売代理店事業を開始

▶ アライアンス・サービス体制強化

- AIや機械学習を活用したAmazon広告マネージドプラットフォーム「Quartile」を提供するクォータイル社と戦略的業務提携
- 大林組、トランスコスモス、応用技術、BIM業務基盤構築のアライアンスを締結
- SNS／インフルエンサーマーケティングを手掛けるインタレストデザインを完全子会社化
- 北海道で11拠点目のオペレーション拠点「BPOセンター札幌狸小路」を新設
- 韓国にWebサイト制作・開発拠点を開設

12. 3Q 活動トピックス

▶ 受賞・認定・その他

- 台湾でISO/IEC 27001の認証を取得
- トランスコスモスコリア、顧客向けサービスの国際標準資格「COPC」取得者数が50人に
- トランスコスモスコリア、カカオ最優秀協力企業に4年連続選定
- トランスコスモスコリア、kakaoトークチャット相談において公式エージェンシーに選定
- 中国コールセンター業界で権威ある賞「金音賞」において「中国ベストカスタマーコンタクトセンター・インテリジェンスサービスアプリケーション賞」を受賞
- 世界のEC市場を解説した書籍「海外ECハンドブック2019」を発刊
- トランスコスモスチャイナ、CTIフォーラムより「インテリジェント・カスタマーサービス・アウトソーシングソリューション賞」を受賞



IRに関するお問い合わせ

トランスコスモス株式会社 管理本部 IR室

Tel. 03-4363-0124

E-Mail. ir_info@trans-cosmos.co.jp

- 本資料に含まれる将来の予測に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本経済、株式市場の動向や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあります。従って当社として、その確実性を保証するものではありません。
- 本資料では、金額は百万円未満切捨、%は小数点以下第2位を四捨五入で表記しています。